

2021 年度コンピテンシー・マイルストーン到達度調査 報告書

2022 年 5 月 23 日

医学部 IR 室

1. 調査概要

1-1. 調査目的

本学医学部学生の学修成果（コンピテンシー・マイルストーン到達度）に関する実態を調査することを目的とした。

1-2. 調査項目

調査項目は、本学のコンピテンシー・マイルストーン（2 年次修了時、4 年次臨床実習開始前、卒業時）の各レベルの到達度について、学生が自己評価を行った。

1-3. 調査対象

2021 年度医学部 1～5 年生 596 名を対象とした。

1-4. 調査方法

4 年次においては、2021 年 10 月 7 日において、Web(AIDLE-K)により記名式の調査を実施した。2021 年度 1 年生、2 年生、3 年生、5 年生においては、2022 年 4 月 4 日～4 月 12 日において、Web(AIDLE-K)により記名式の調査を実施した。

1-5. 回答者数と回収率

2021 年度 1 年生から 5 年生まで 411 名が回答した。内訳は、1 年生が 108 名（回収率 81.2%）、2 年生が 79 名（回収率 65.8%）、3 年生が 88 名（回収率 81.5%）、4 年生が 101 名（回収率 84.9%）、5 年生 25 名（回収率 30.2%）であった。

2. 結果

コンピテンシー・マイルストーンは、2 年次レベル、4 年次臨床実習開始前レベルで設定されている。そこで、2 年次、4 年次において、レベル未達成の割合が各学年の 40% 以上の項目を抽出した。グラフのタイトルは卒業時コンピテンシーのそれぞれの項目とした。

<2 学年次>

IV. 診療技能

33. 身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。

(2年次のマイルストーン)

身体診察と基本的臨床手技の概略を説明できる。

34. 診療録を SOAP 形式で、客観的、かつ簡潔に記載し、プロブレムリスト、鑑別診断を作成できる。

(2年次のマイルストーン)

診療録における POS (Problem Oriented System) の概略を述べることができる。

35. 適切な検査を選択し、結果を正しく解釈できる。

(2年次のマイルストーン)

日常診療でよく用いられる検査の原理や手技の概要を説明できる。

<4 学年次>

II. コミュニケーション

21. 様々な ICT (Information and Communication Technology) を適切に選択し、活用できる。

(4年次のマイルストーン)

病態・検査・治療を ICT を活用しながら説明できる。

III. 医学の知識と科学的探究心

26. 疾患の適切な治療、最新の治療を理解し説明できる。

(4 学年次マイルストーン)

疾患ごとの、基本的な治療を説明することができる。

IV. 診療技能

36. 時、相手・場所に応じた適切なプレゼンテーションができる。

(4 学年次マイルストーン)

伝えたい内容を聴く人が理解しやすいようにプレゼンテーションができる。

V. 地域社会への貢献

43. 医療計画、地域医療構想について説明できる。

(4 学年次マイルストーン)

わが国における医療計画として、地域医療の効率化、体系化の意義を概説できる。(医療法第 30 条)

44. 住民啓発活動や一次医療の診療補助により地域医療に参加ができる。

(4 学年次マイルストーン)

地域医療における住民啓発活動や一次診療の具体的内容を説明できる。

45. 社会保障制度を理解し、地域包括ケアの実践に参加できる。

(4 学年次マイルストーン)

高齢者社会における地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築にかかわる取り組みを説明できる。

47. 国際社会の健康問題を把握、説明することができ、可能な範囲でその問題に対処できる。

(4 学年次マイルストーン)

我が国のみならずアメリカ、ヨーロッパ諸国、アジア諸国のヘルスケアの様々なあり方について概説できる。

3. まとめ

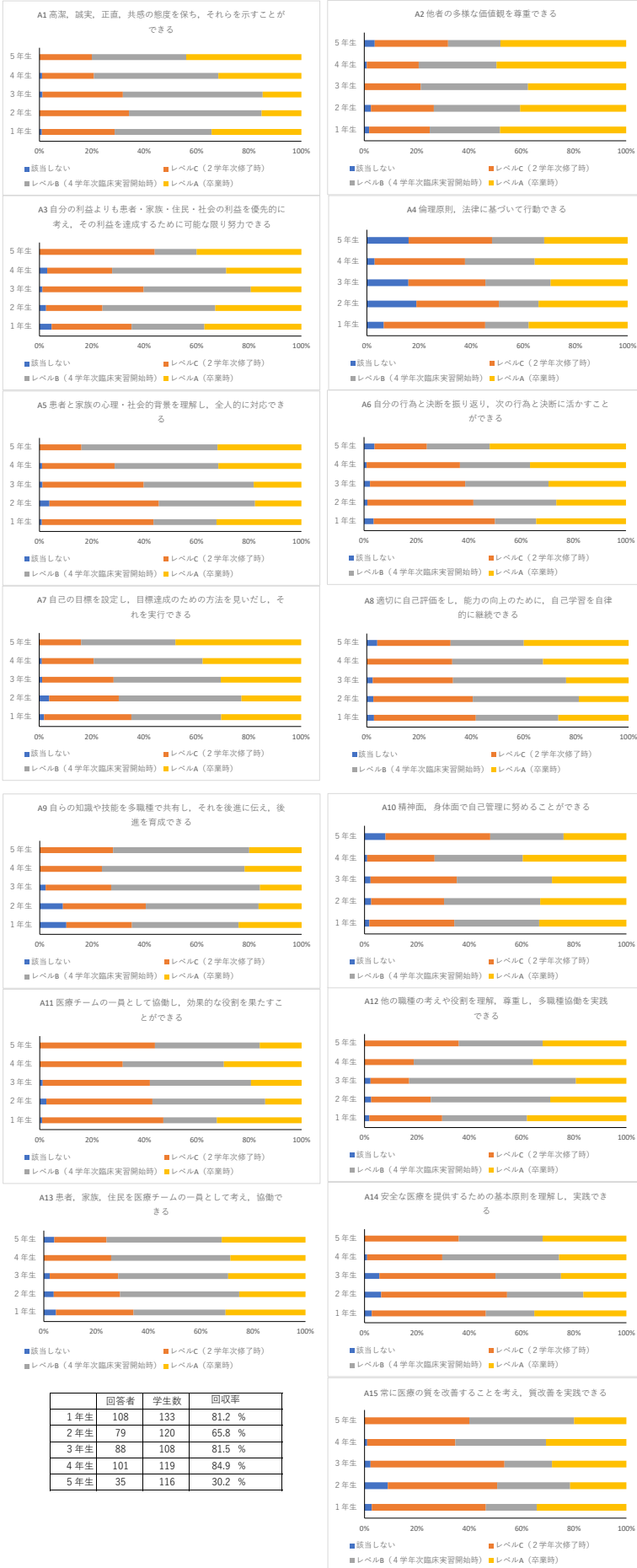
コンピテンシー・マイルストーン調査を各学年次で行い、さらに、2 年次、4 年次で未達成割合が 40%以上の項目を抽出した。

2 学年次においては、VI. 診療技能のマイルストーンにおいて、未達成割合が多かった。1、2 学年次においては、早期体験実習（シミュレーション実習・コミュニケーション実習、看護体験実習、診療科見学実習）、地域社会医学実習、チーム医療実習、外来案内実習が開講されている。これらの低学年次の実習を通して診療技能の 2 年次のマイルストーンの修得率が上昇することが期待される。

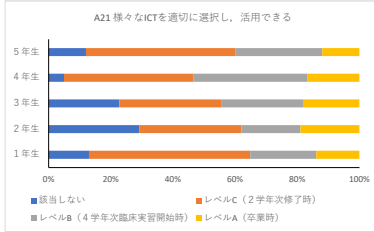
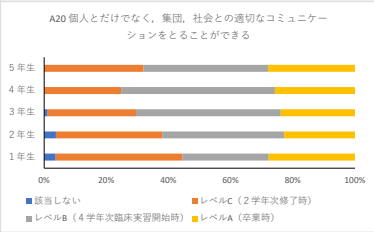
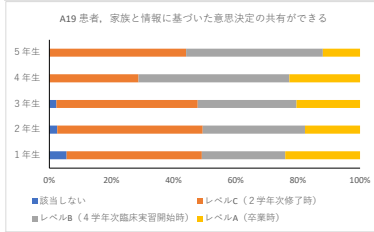
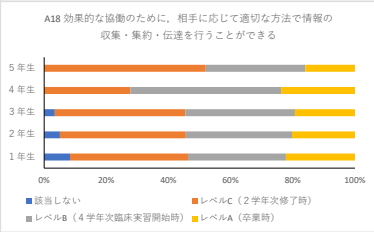
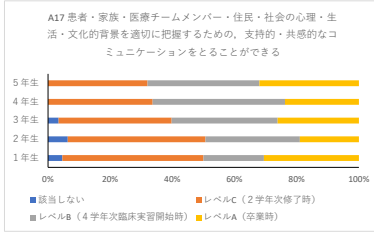
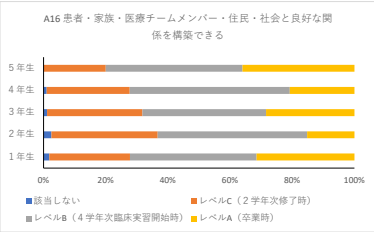
4 学年次においては、V. 地域社会への貢献のマイルストーンにおいて、未達成割合が多かった。2 学年次の地域社会医学実習、3 学年次の地域包括ケア実習、4 学年次の地域医療早期体験実習、4 学年次の地域医療総合医学などの実習や講義などを通して、これらの 4 学年次のマイルストーンの修得率が上昇することが期待される。

2021年度マイルストーン到達度
I.プロフェッショナリズム

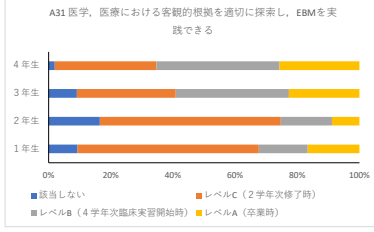
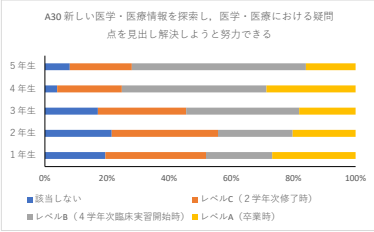
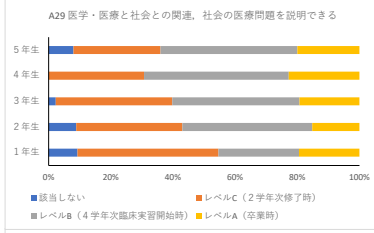
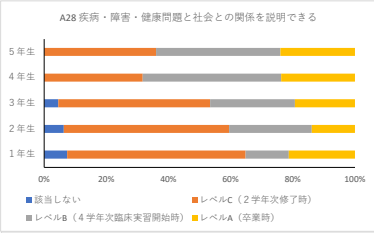
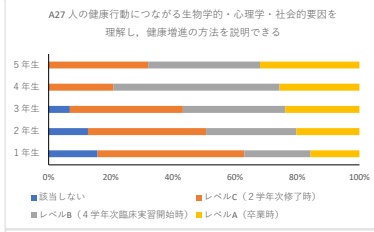
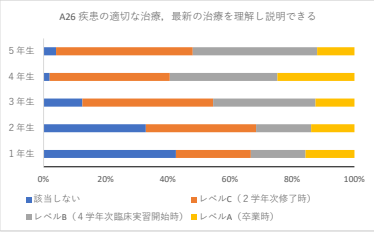
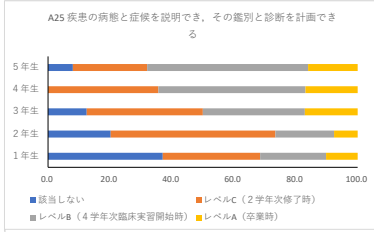
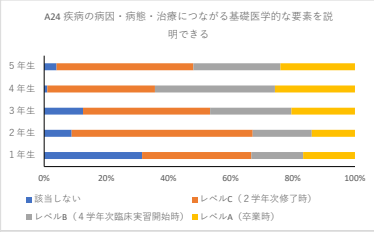
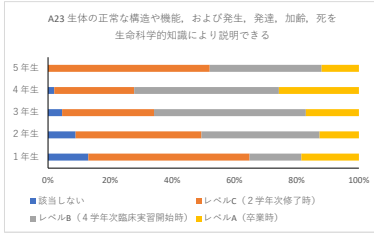
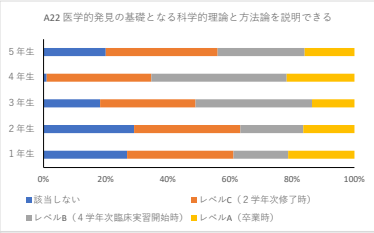
2022年4月に新2年生から新6年生を対象として、AIDLE-Kにて実施
4年生においては、臨床実習開始前（2021年10月）に実施



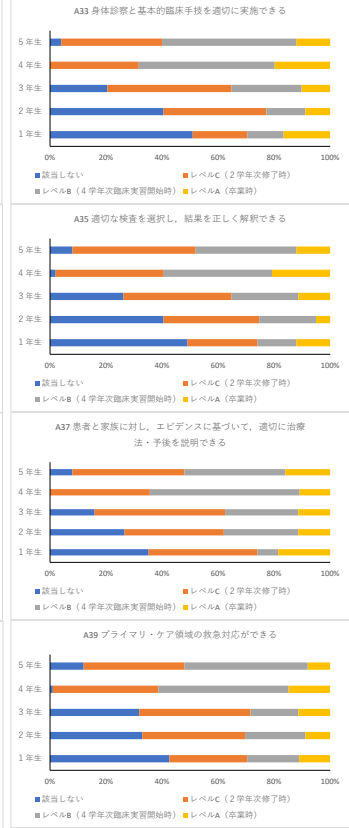
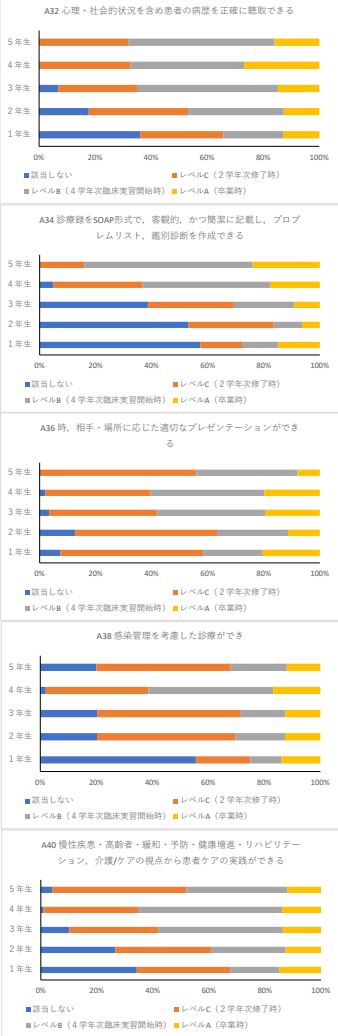
II. コミュニケーション



III. 医学の知識と科学的探究心



IV. 診察技能



V. 地域社会への貢献

